

「高次脳機能障害者家族のつどい」

に参加しませんか？

高次脳機能障害とは？

交通事故などによる脳の外傷や脳疾患などを原因として、脳の一部が損傷されたことによって起こる障がいです。新しいできごとを覚えられない記憶障害や、ぼんやりしていても何かするとミスばかり繰り返す注意障害など、認知障害を起こす場合が多く、本人は日常生活を営む上での困難さを抱えています。

また、身体の障がいを伴わない場合があるため、外見からは分かりにくい障がいともいわれ、本人が障がいを認識したり、周囲の人が障がいを理解することが難しい場合が多いことが特徴です。そのため、本人や家族の負担は想像以上に大きくなっています。

高次脳機能障害者家族のつどいって？

高次脳機能障害の理解や支援の手立てなどについて、家族のみなさまがお持ちの情報を交換し、互いに交流を深めていただくことを目的に、市では、家族のつどいを開催しています。

高次脳機能障害についての理解を深め、日ごろの悩みや思いを一緒にお話ししませんか？

高次脳機能障害者家族のつどい

ご家族のみなさまに、日ごろの悩みや上手な関わり方、介護のヒントなど、いろいろなお話をしていただく機会です。ぜひ、ご参加ください。

日時 11月13日(火) 13:30～
場所 ラポートやしろ 2階 研修室
対象 高次脳機能障害と診断を受けられた方の家族
内容 茶話会
申込期限 11月12日(月)
申し込み・問い合わせ
福祉部社会福祉課 (社庁舎) ☎43-0409

相談窓口

- 診断や障がい者手帳の取得など→医療機関 (主治医)
- 障がい者手帳取得の手续や障害福祉サービスの利用など
→障害者生活支援センター (社会福祉課内) ☎43-0409
- 高次脳機能障害に関する総合相談窓口
→兵庫県立総合リハビリテーションセンター
☎078-925-9262

参加者からのメッセージ

つどいに参加して「こんなに近くに、分かち合える人がいたんだ」と気持ちが楽になりました。

自分たちの地域で、分かち合える人が欲しい。そして、地域の人たちにも知ってもらいたいと願っています。当事者、家族、支援者、地域みんなで支え合うことができるようになるとうれしいです。

突然大切な人が、事故や病気に遭うと家族は途方に暮れてしまいます。元気になったけれど何かが違う。これが、高次脳機能障害です。

つどいに来て、一緒にお話しませんか。「そうそう、一緒やで」と言ってもらうだけで、ほっとしますよ。

話すことで日ごろの悩みや思いを共有することができます。励ましたり、元気をもらえたりします。笑顔で過ごせるようにがんばりましょう。

11月は児童虐待防止推進月間

～虐待を見つけたら、すぐに通告しましょう～

- 虐待を放置すると、命の危険を伴い、最悪の場合は死に繋がったり、身体に重篤な障害を及ぼすことがあります。
- もし、虐待が事実でなかったとしても、通告者が責任を問われることはありません。虐待を未然に防ぐため、間違いを恐れずにすぐに通告しましょう。

- 家庭児童相談室(子育て支援課内) ☎43-0441
- 兵庫中央こども家庭センター
☎078-921-9119(24時間ホットライン)

※明らかに生命に危険があると判断した場合は、一刻も早く子どもを保護しなければなりません。すぐに110番通報してください。



■児童虐待が疑われる例

- ① 不自然な傷やあざが多い。
- ② 小さな子どもを残して親がたびたび外出している。
- ③ 長時間、子どもが外に出されている。
- ④ いつも泣き声が絶えない。
- ⑤ 暴力を振るわれているようだ。
- ⑥ お風呂に長期間入っていないようだ。
- ⑦ いつも季節に合わない服を着ている。